

2011年3月期 第2四半期累計期間 決算説明会

平成22年11月19日

グループの概要



①連結の範囲および持分法の適用

		2010.3.31	2010.9.30	社名
連結子会社	国内子会社	7社	7社	オイレスECO、大平産業、オイレス東日本販売 免震エンジニアリング ユニプラ、リコーキハラ、ルービィ工業
	海外子会社	9社	9社	OUH、OAC(アメリカ)、OCC(カナダ)、ODG(ドイツ) OFC(フランス)、OCM(チェコ)、SOBI(上海) OSC(蘇州)、OTC(タイ)
持分法適用会社数		1社	1社	オーケー工業

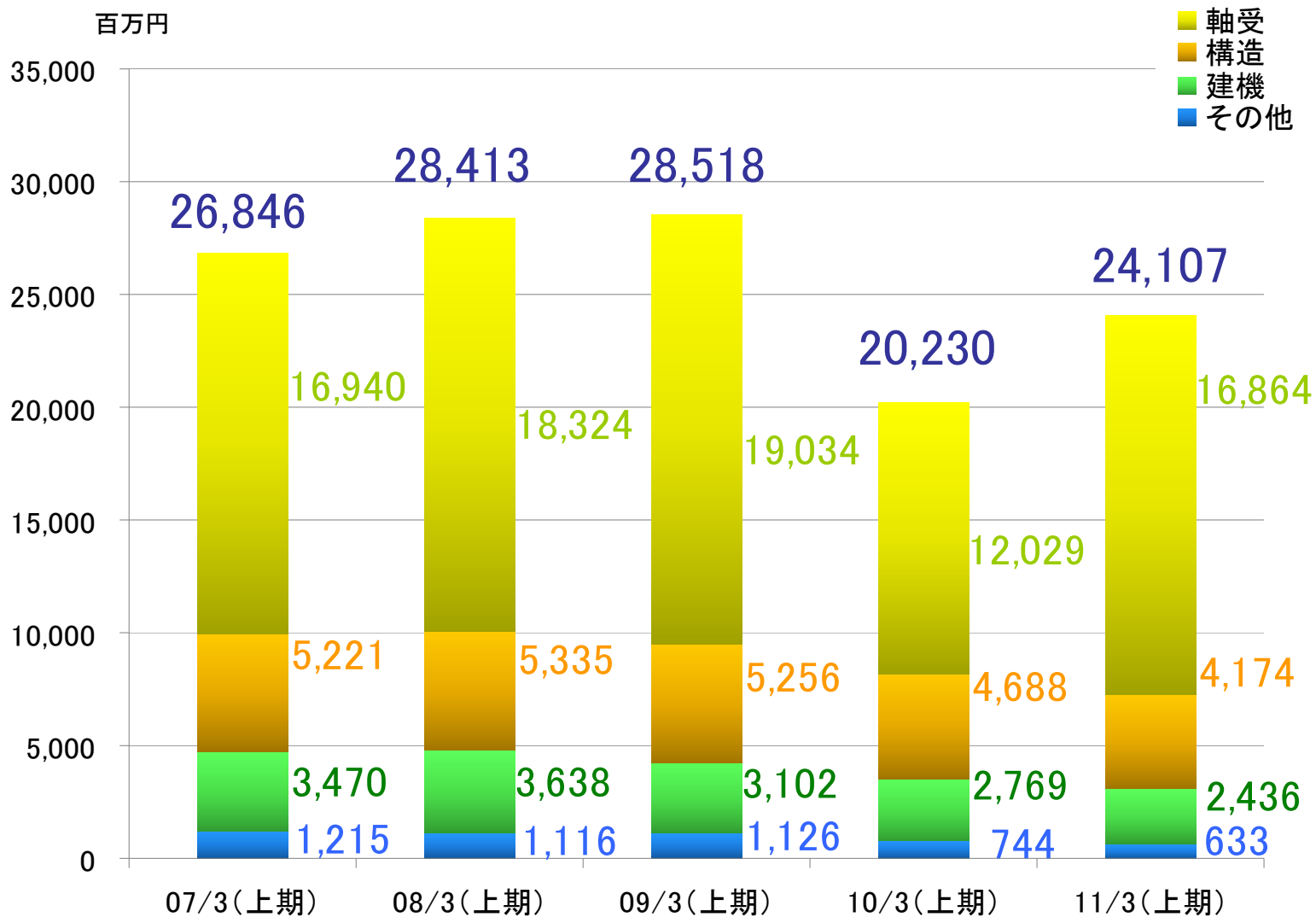
②グループ従業員数

	2010.3.31	2010.9.30	増減
国内	1,622人	1,630人	8人
海外	409人	455人	46人
合計	2,031人	2,085人	54人

2010年3月期 上期決算の概要

1. 今上期の業績は、売上・利益とも前年同期を上回った。
2. 軸受：◎ 自動車向け製品は、国内メーカーの生産台数の増加に加えて、アジア地区を中心とした海外市場での受注増により売上は増加した。
◎ 一般産業機械向け製品は、市況の回復および社会インフラ設備への新規採用などにより売上は増加した。
3. 構造：◎ 橋梁向け製品は、免震支承の売上は減少したが、耐震補強等の製品が増加したため、売上は増加した。
建物向け製品は、民間投資が低調なため、売上は減少した。
4. 建築：主力であるビル向けウィンドーオペレータは、市場環境による新規物件の減少から売上は減少した。住宅向け製品の売上は増加したが、全体の売上を増加させるには至らなかった。

連結売上高の5期推移(上期)

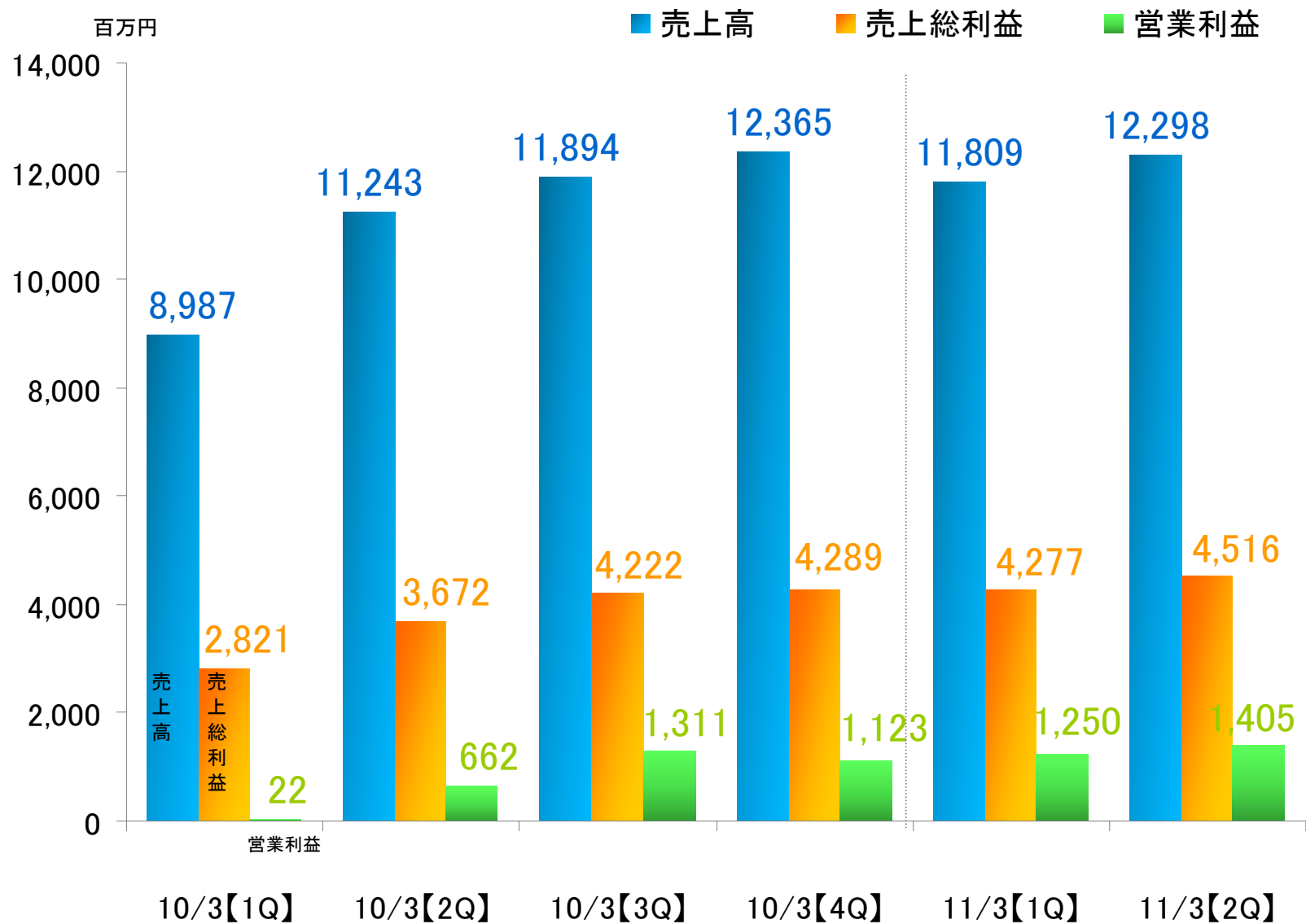


連結比較損益計算書(上期)

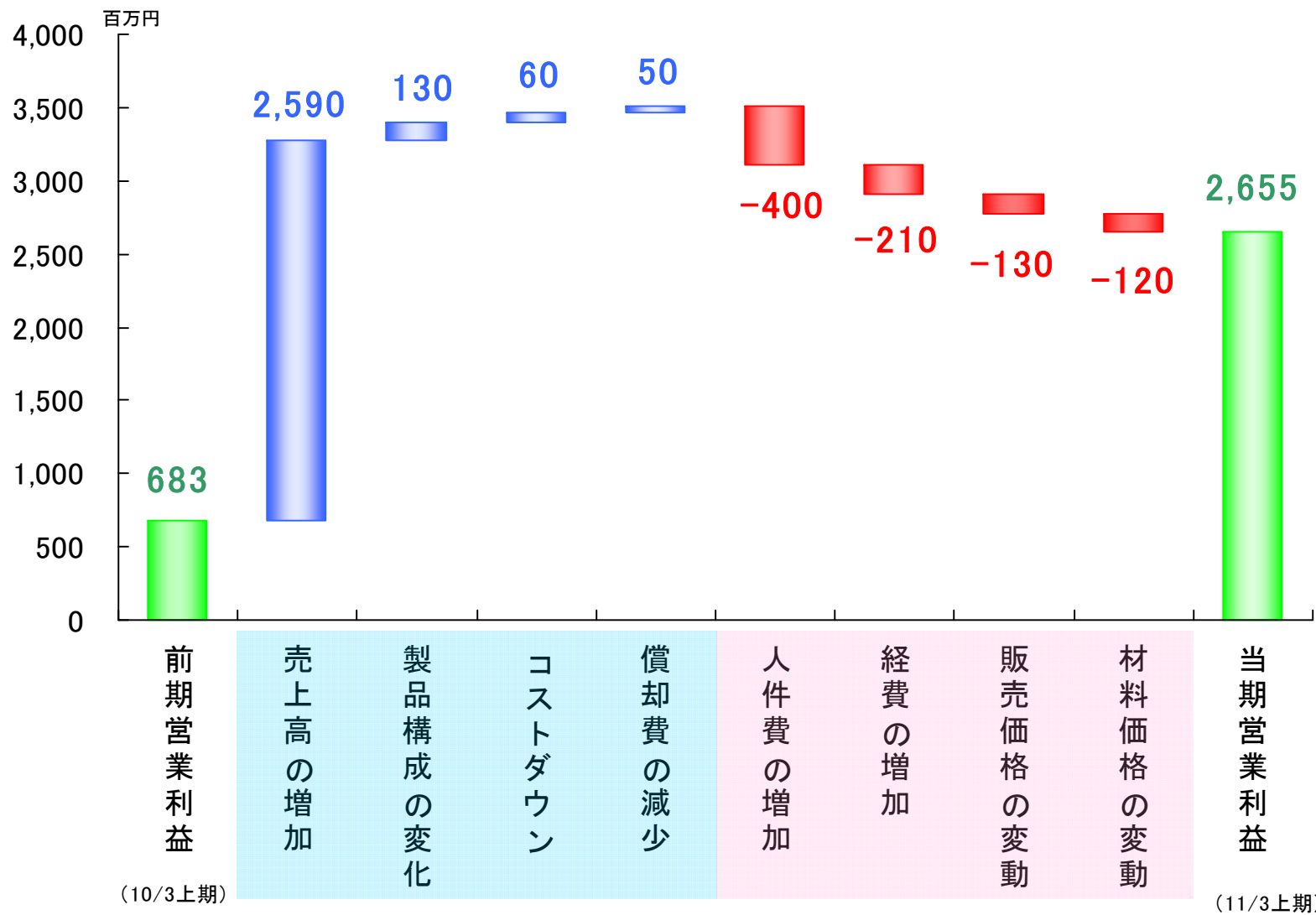
単位:百万円

	10/3上期		11/3上期		前年同期比増減	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	比率
売上高	20,230	100.0	24,107	100.0	3,876	19.2
売上総利益	6,492	32.1	8,793	36.5	2,300	35.4
販管費	5,809	28.7	6,137	25.5	328	5.7
営業利益	683	3.4	2,655	11.0	1,971	288.5
経常利益	981	4.8	2,633	10.9	1,652	168.5
当期純利益	583	2.9	1,262	5.2	679	116.4

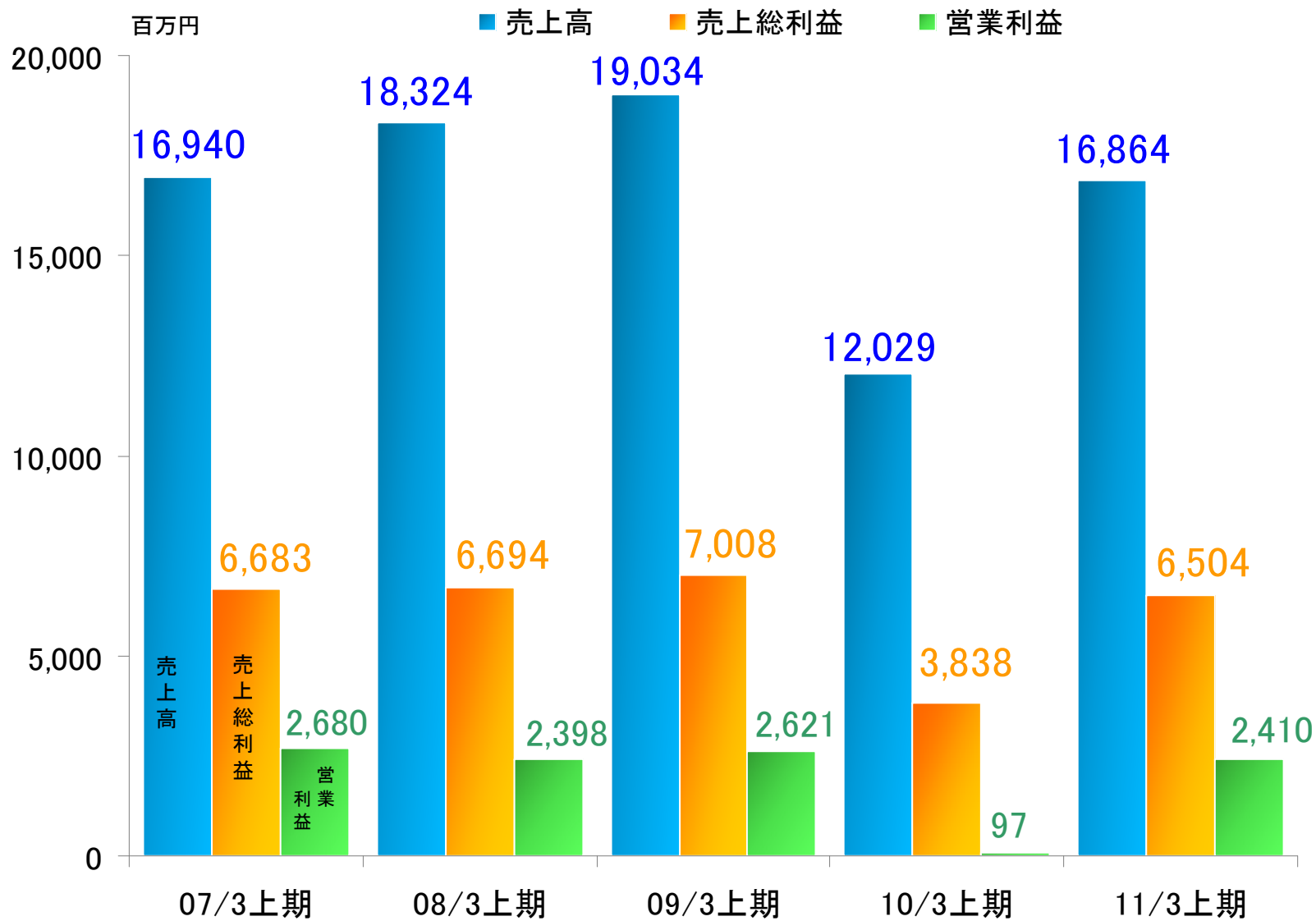
10/3期・11/3期 四半期別損益推移



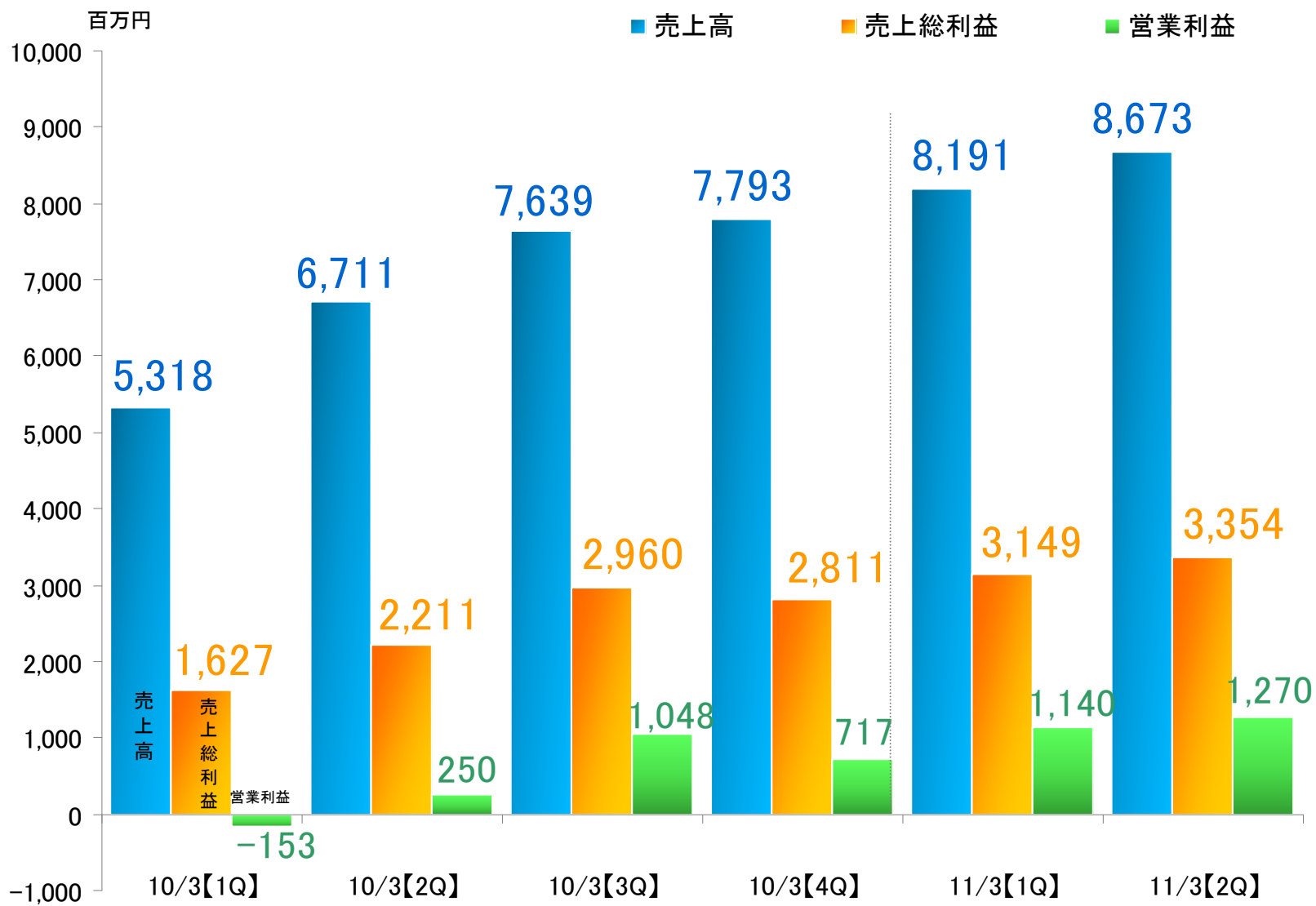
11/3上期 連結営業利益の対前年同期比 増減要因



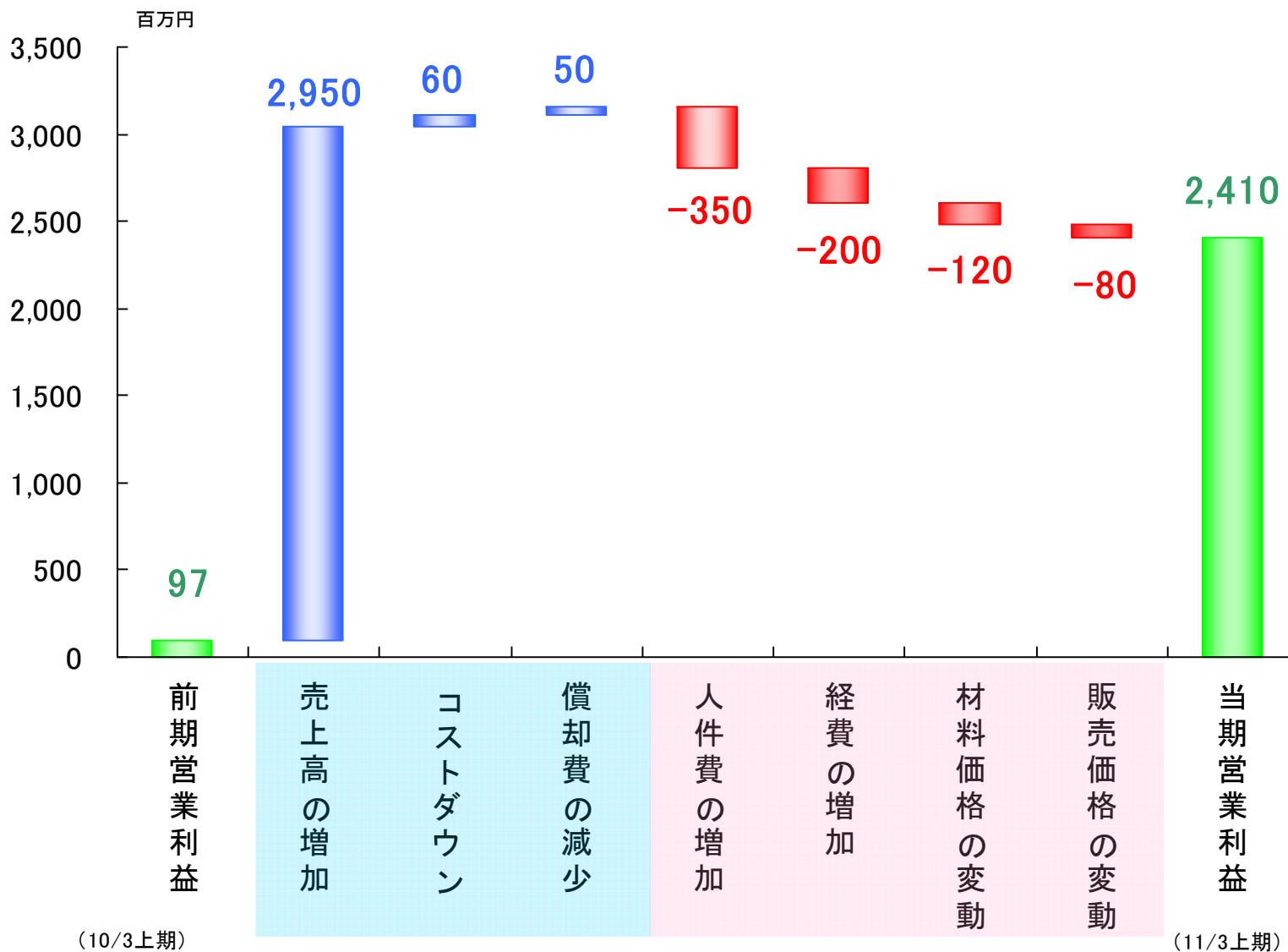
軸受機器セグメント 5期損益推移



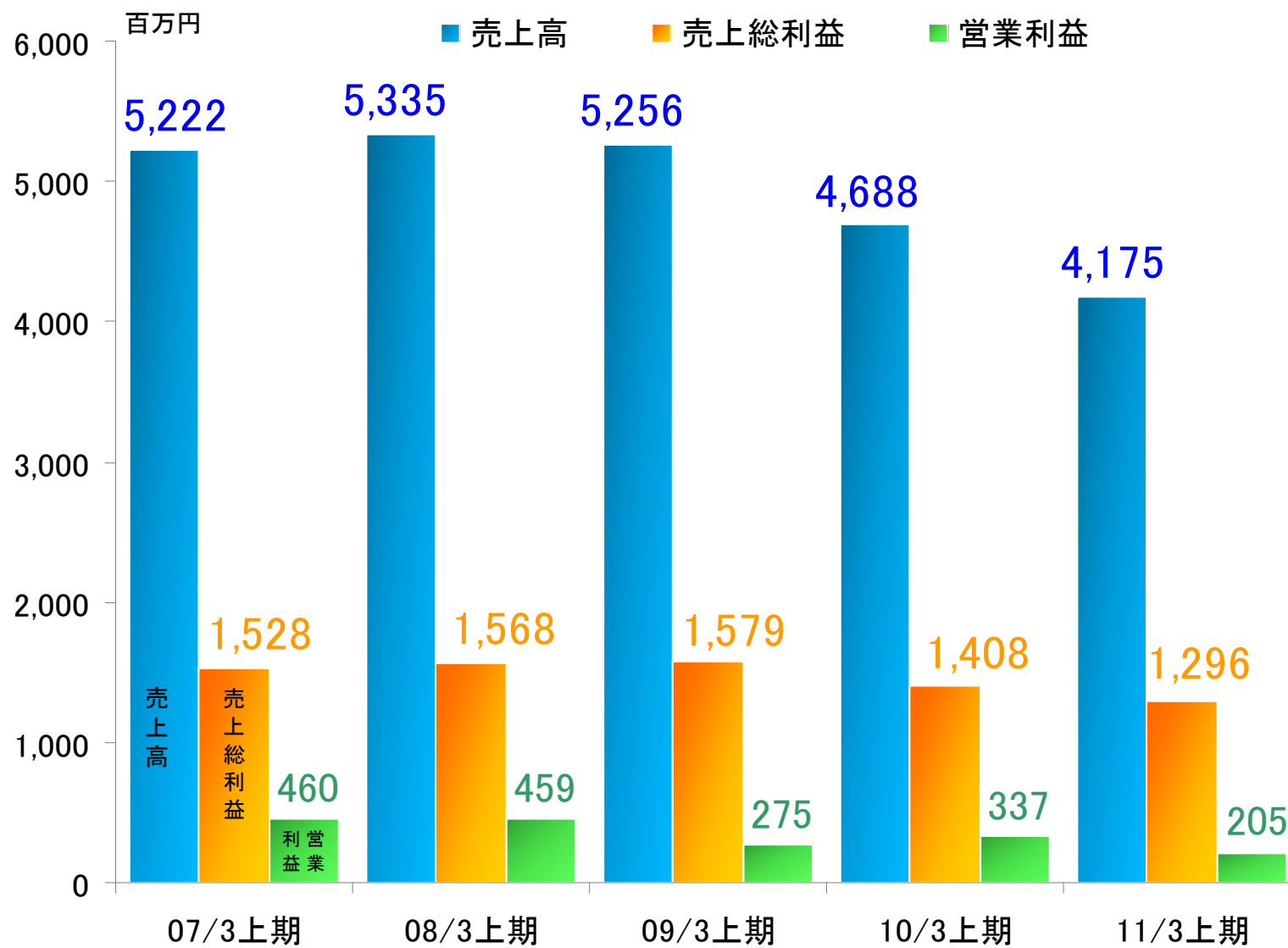
軸受機器セグメント 10/3期・11/3期 四半期別損益推移



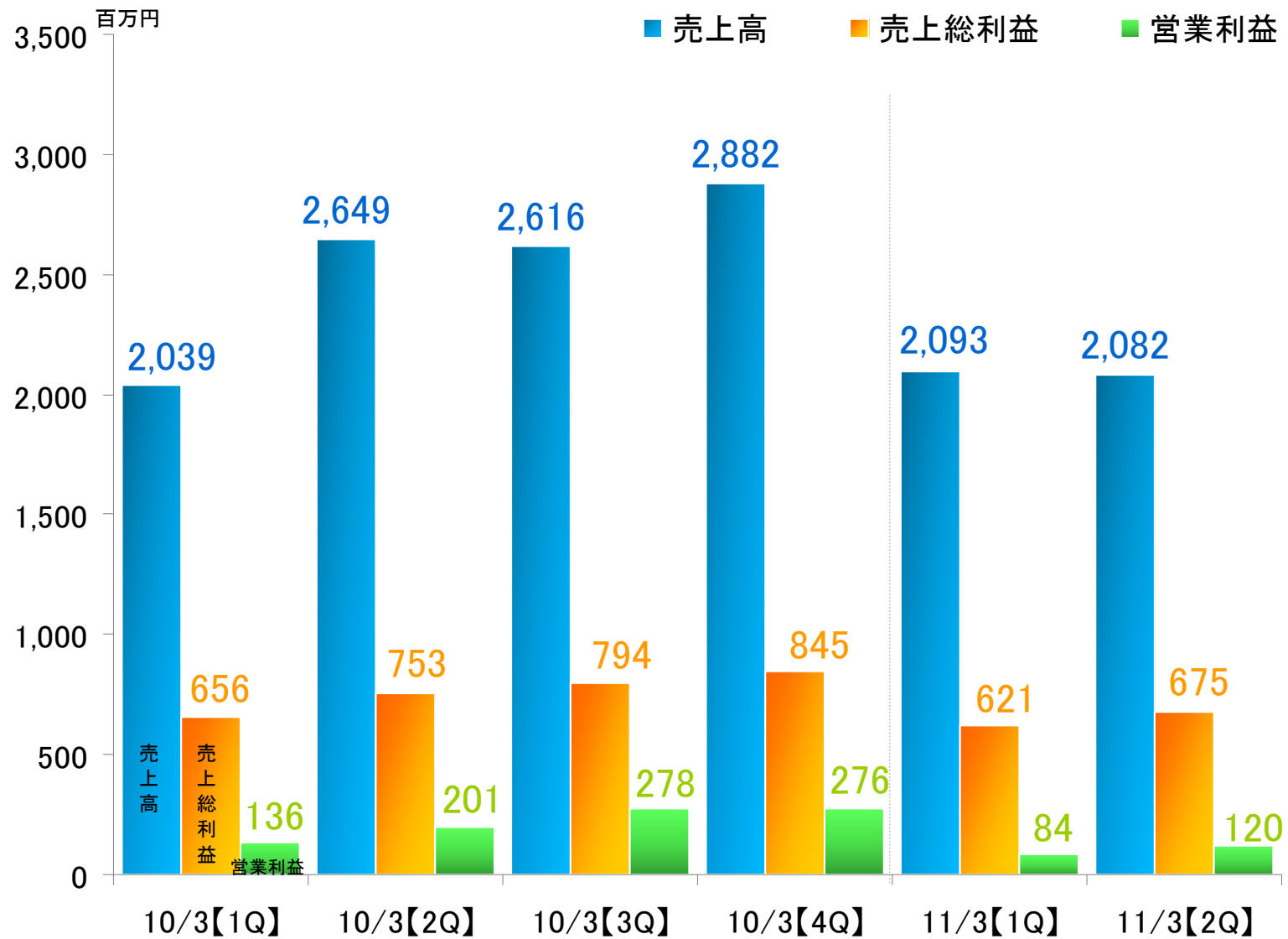
軸受機器セグメント 連結営業利益(上期) 対前年同期比較増減要因



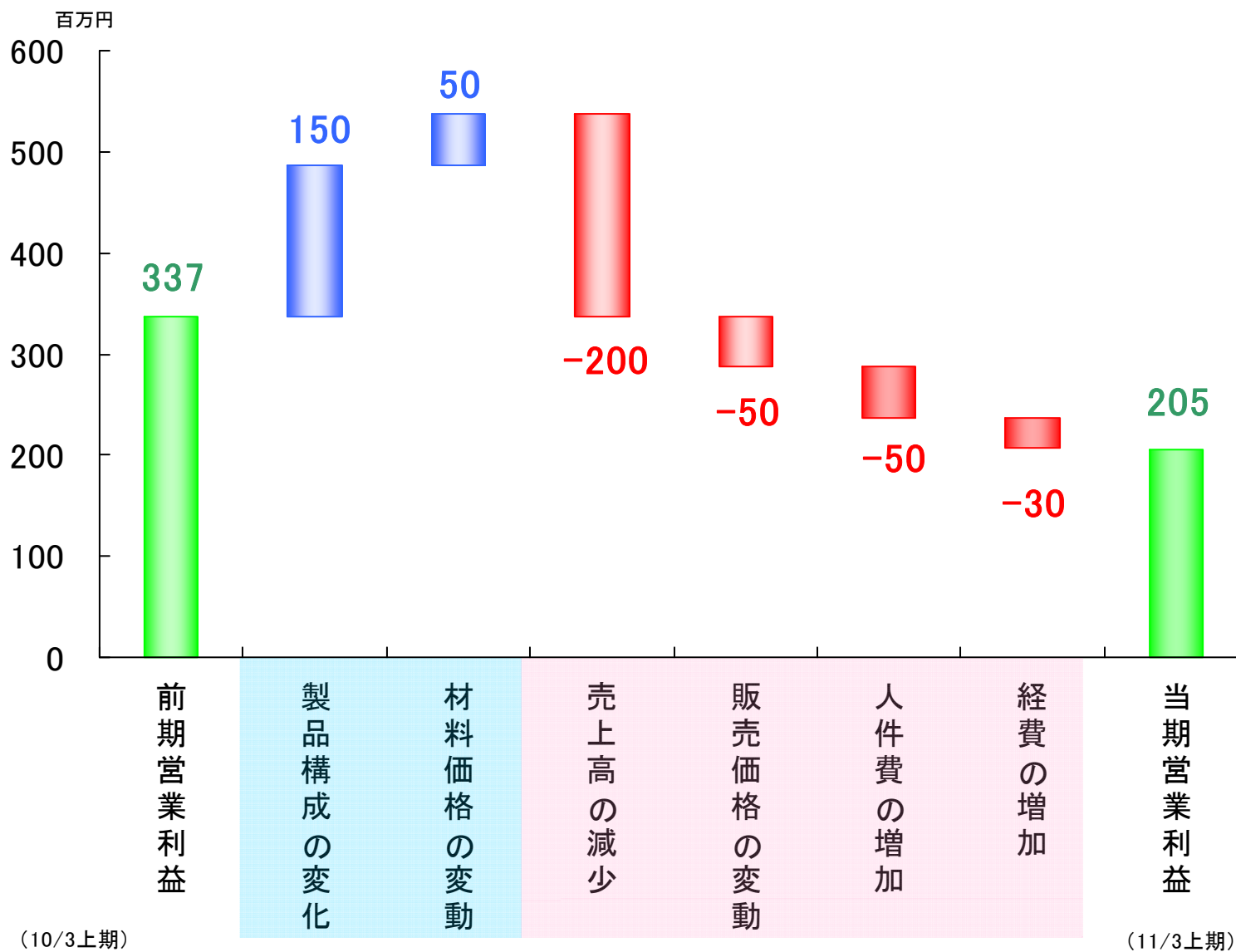
構造機器セグメント 5期損益推移



構造機器セグメント 10/3期・11/3期 四半期別損益推移



構造機器セグメント 連結営業利益(上期) 対前年同期比較増減要因



建築機器・その他セグメント 5期損益推移

《 建築機器 》

単位:百万円

	07/3上期		08/3上期		09/3上期		10/3上期		11/3上期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	3,470	100.0%	3,639	100.0%	3,102	100.0%	2,769	100.0%	2,437	100.0%
売上総利益	1,182	34.1%	1,274	35.0%	1,117	36.0%	1,090	39.4%	860	35.3%
販管費	1,092	31.5%	976	26.8%	928	29.9%	877	31.7%	842	34.5%
営業利益	90	2.6%	297	8.2%	189	6.1%	213	7.7%	18	0.7%



《 その他 》

単位:百万円

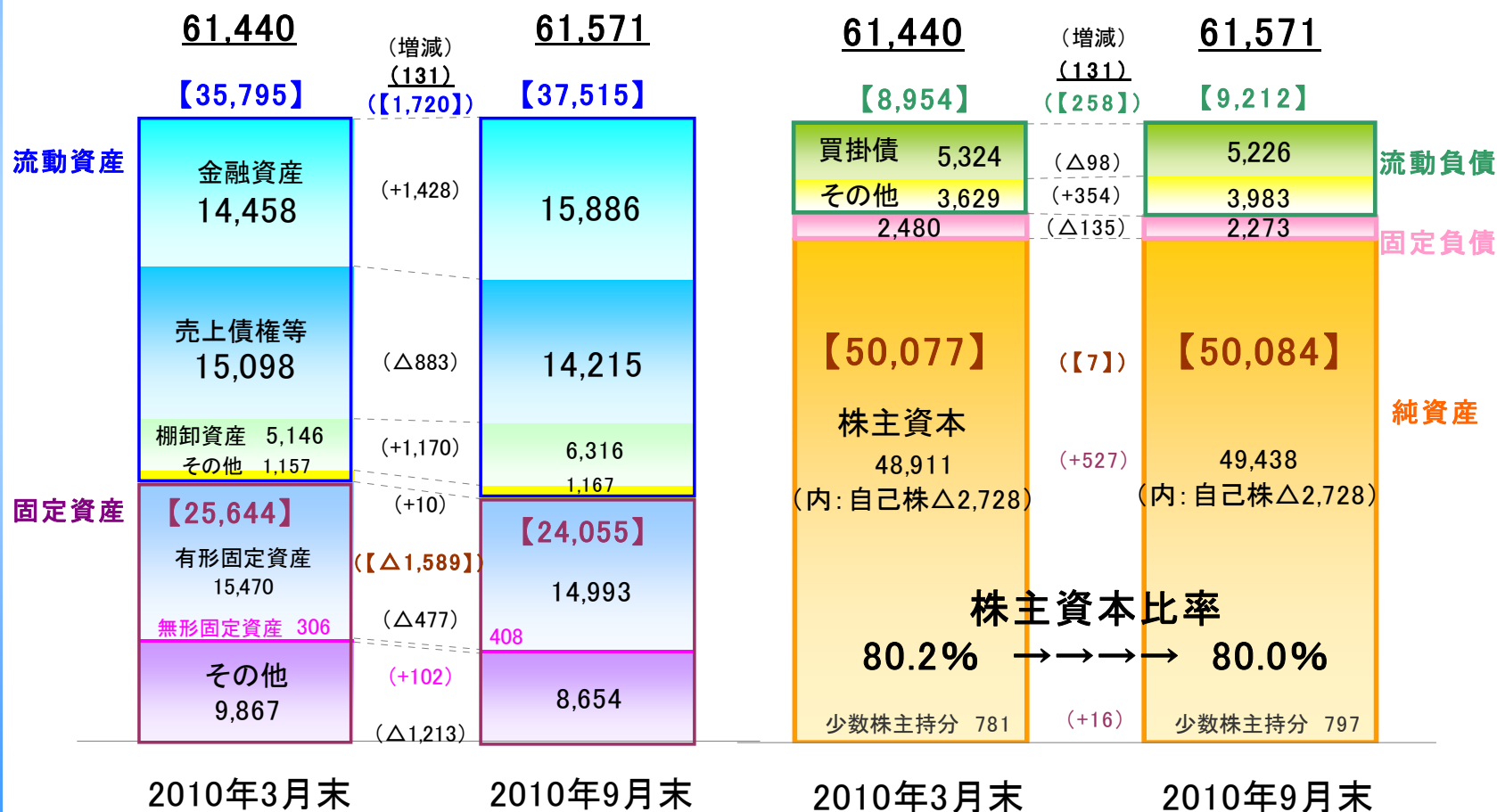
	07/3上期		08/3上期		09/3上期		10/3上期		11/3上期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	1,214	100.0%	1,114	100.0%	1,125	100.0%	744	100.0%	632	100.0%
売上総利益	197	16.2%	200	18.0%	188	16.7%	157	21.1%	134	21.2%
販管費	169	13.9%	159	14.3%	137	12.1%	121	18.4%	112	17.7%
営業利益	28	2.3%	40	3.7%	51	4.6%	36	4.8%	22	3.5%

比較連結貸借対照表

資産

負債・純資産

単位:百万円



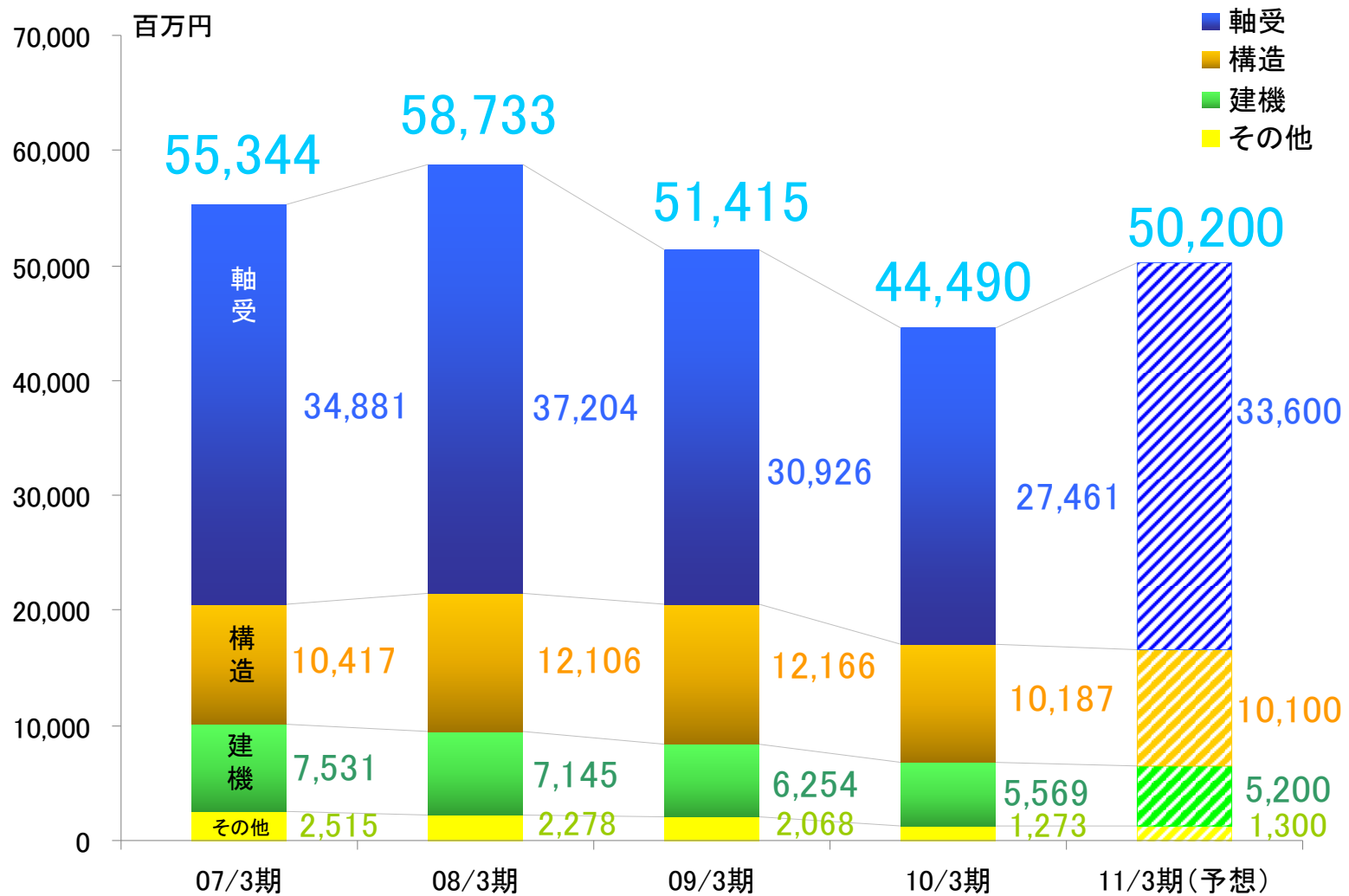
連結キャッシュ・フロー表

単位：百万円

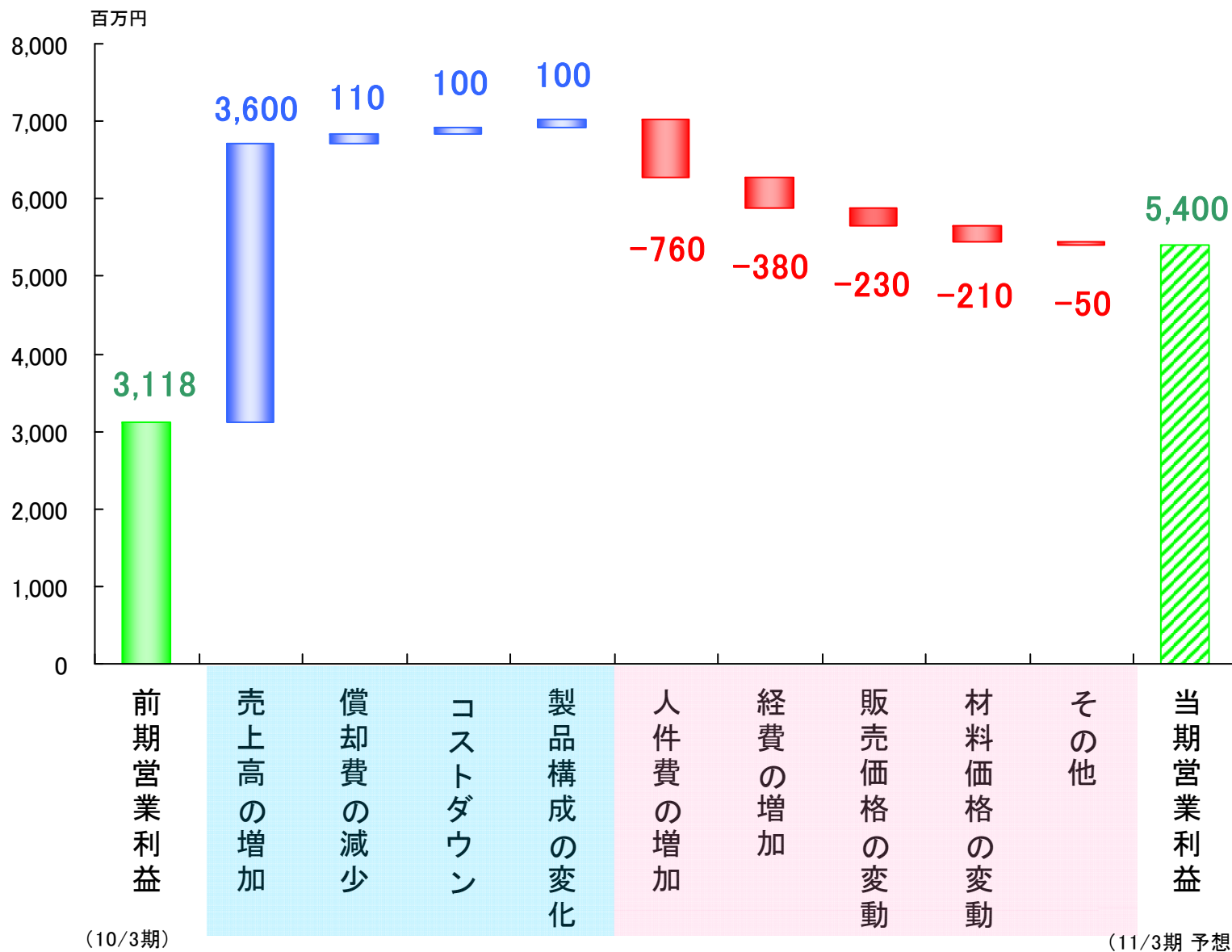
項 目	金 額	主 な 内 容								
現金及び現金同等物の期首残高	13,938									
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,442	<table> <tr> <td>税前利益</td> <td>2,238</td> </tr> <tr> <td>償却費</td> <td>1,046</td> </tr> <tr> <td>売上債権の減少</td> <td>782</td> </tr> <tr> <td>棚卸資産</td> <td>△1,248</td> </tr> </table>	税前利益	2,238	償却費	1,046	売上債権の減少	782	棚卸資産	△1,248
税前利益	2,238									
償却費	1,046									
売上債権の減少	782									
棚卸資産	△1,248									
投資活動によるキャッシュ・フロー	△610	<table> <tr> <td>有形固定資産</td> <td>△635</td> </tr> <tr> <td>有価証券の取得</td> <td>△420</td> </tr> <tr> <td>保険積立金解約</td> <td>534</td> </tr> </table>	有形固定資産	△635	有価証券の取得	△420	保険積立金解約	534		
有形固定資産	△635									
有価証券の取得	△420									
保険積立金解約	534									
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771	<table> <tr> <td>配当金</td> <td>733</td> </tr> </table>	配当金	733						
配当金	733									
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132									
現金及び現金同等物の増減額	928									
現金及び現金同等物の期末残高	14,866									

通期の予想について

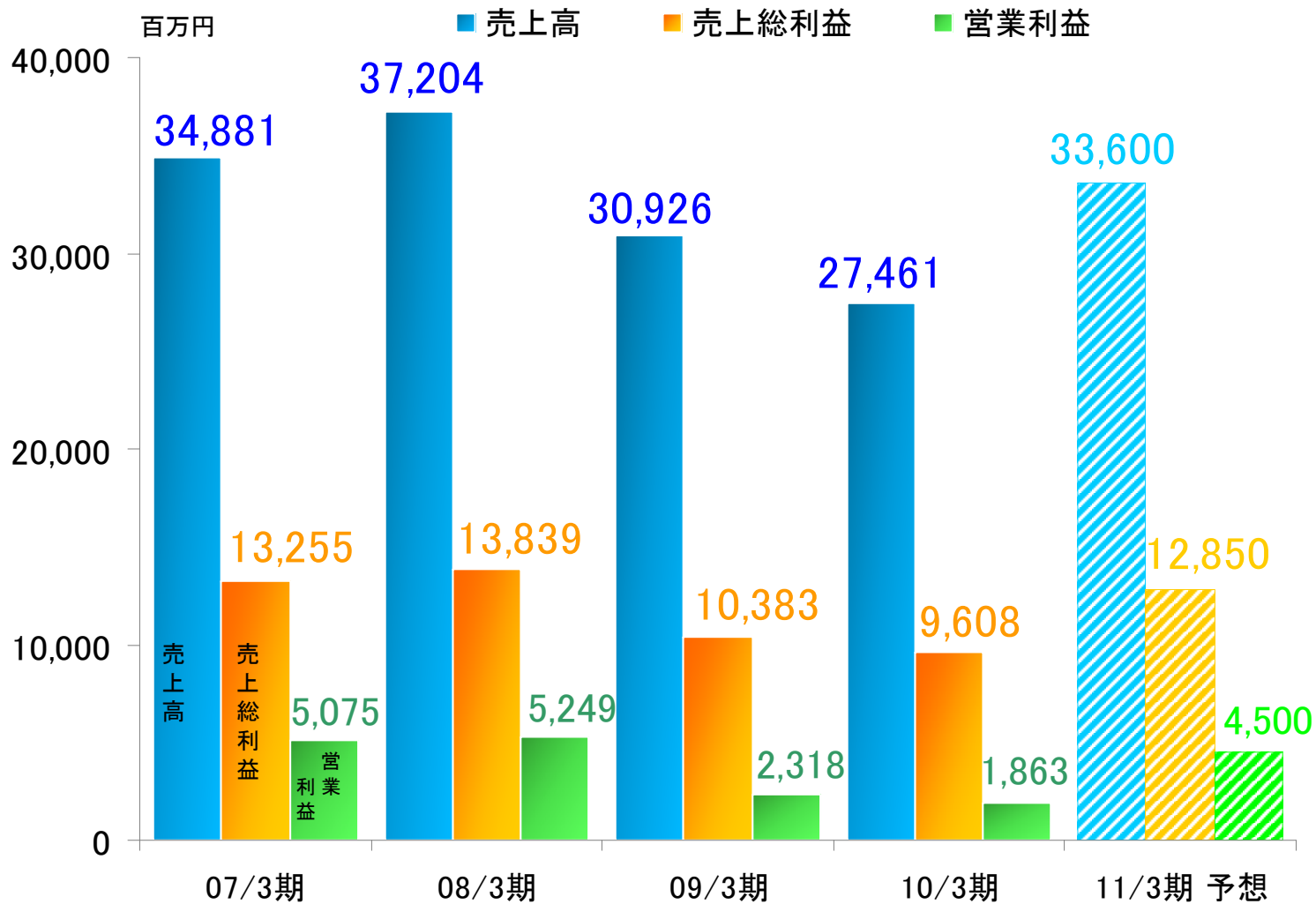
連結売上高 5期実績・予想推移



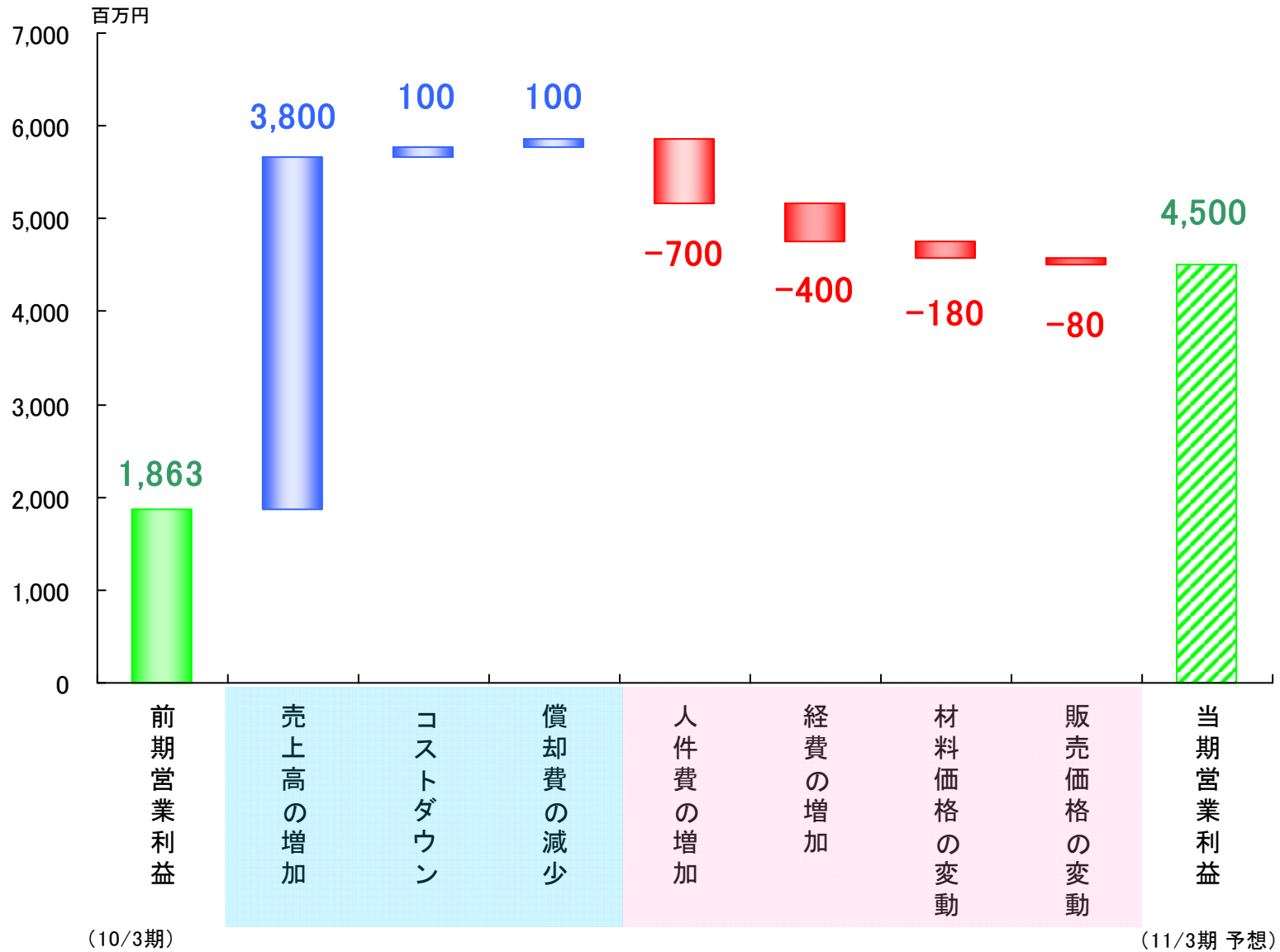
11/3期 連結営業利益 対前年同期比較増減要因



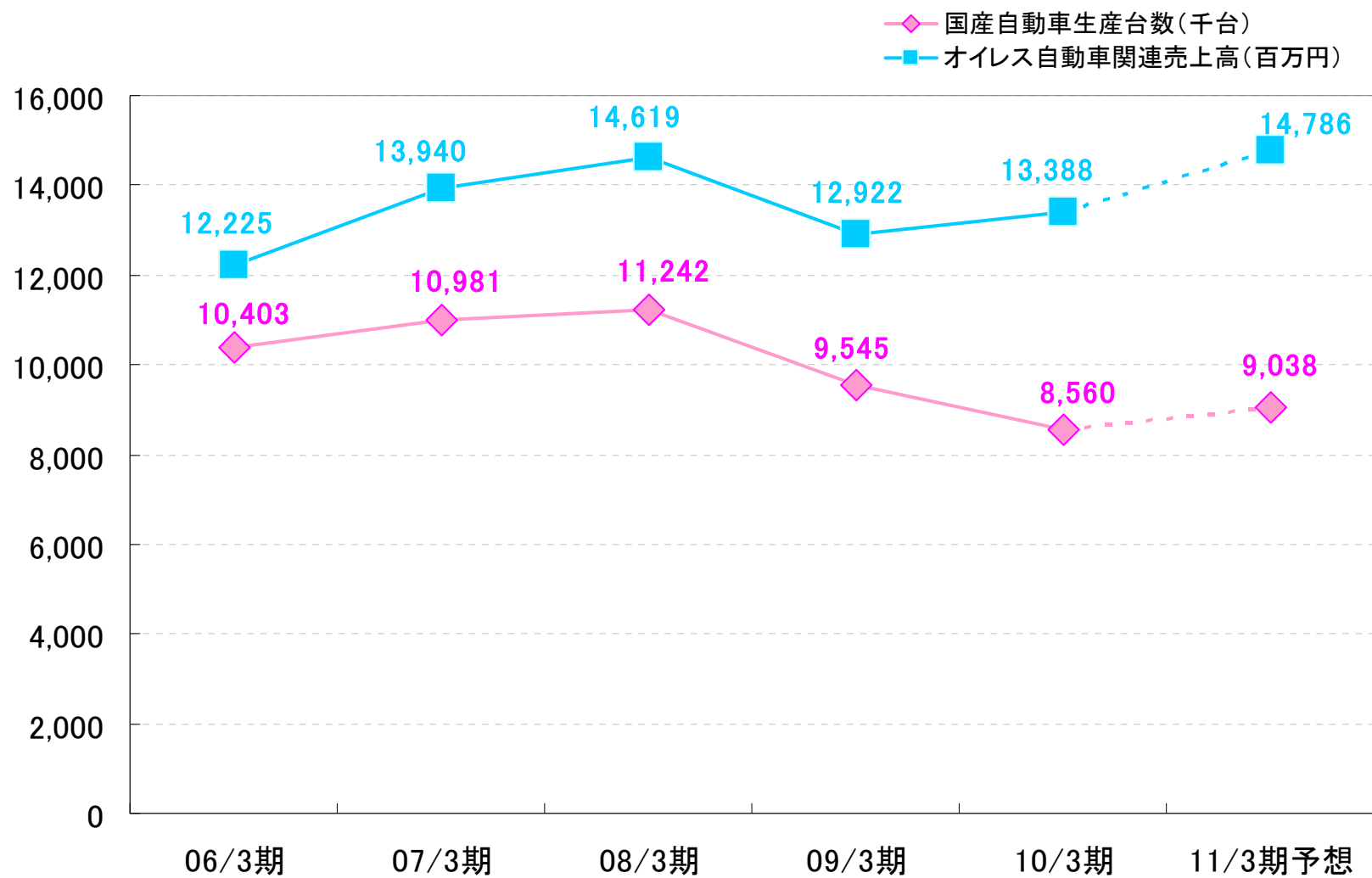
軸受機器セグメント 5期損益実績・予想推移



軸受セグメント 11/3期 営業利益増減要因予想

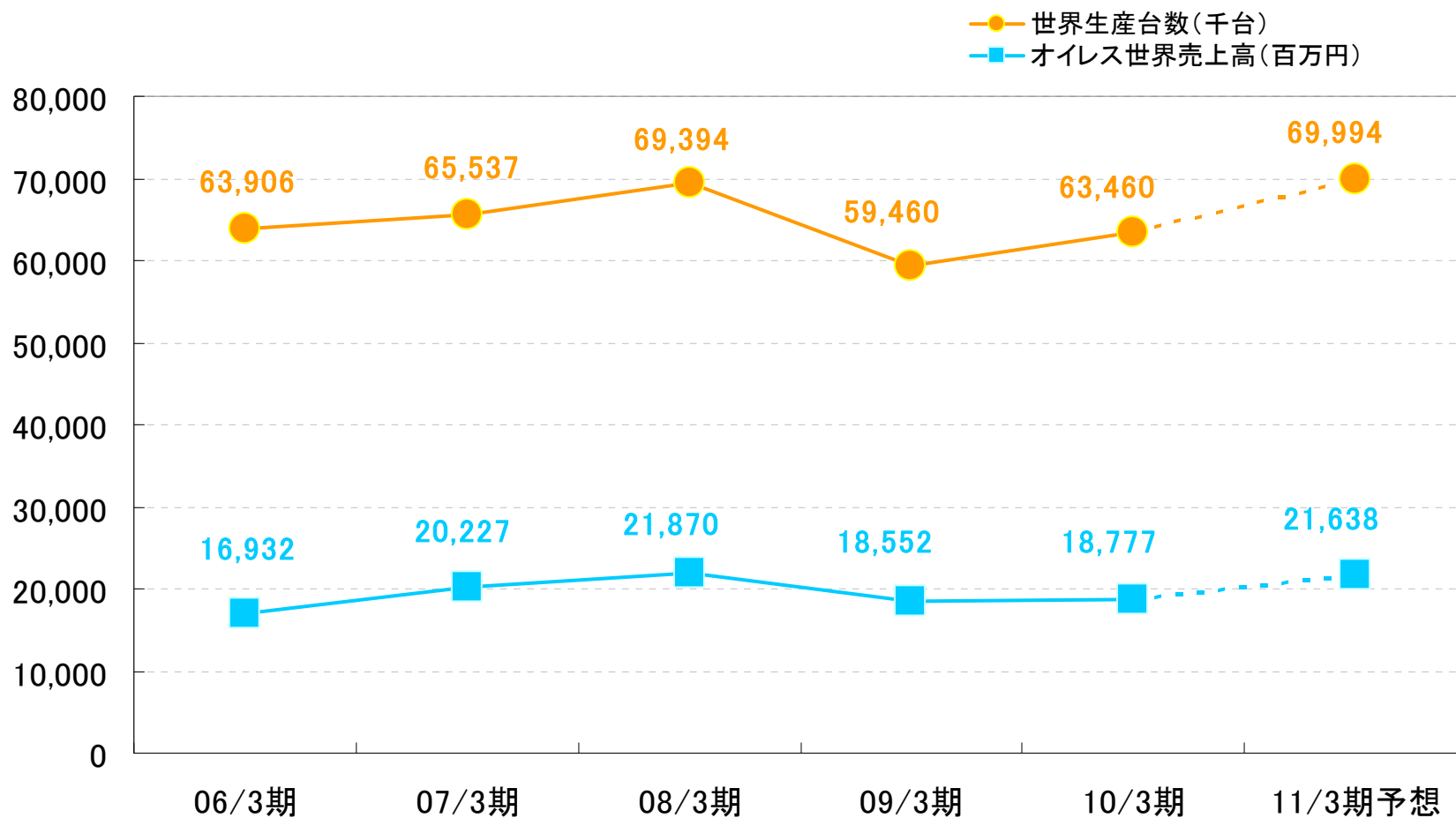


自動車向け製品(国内)の売上推移



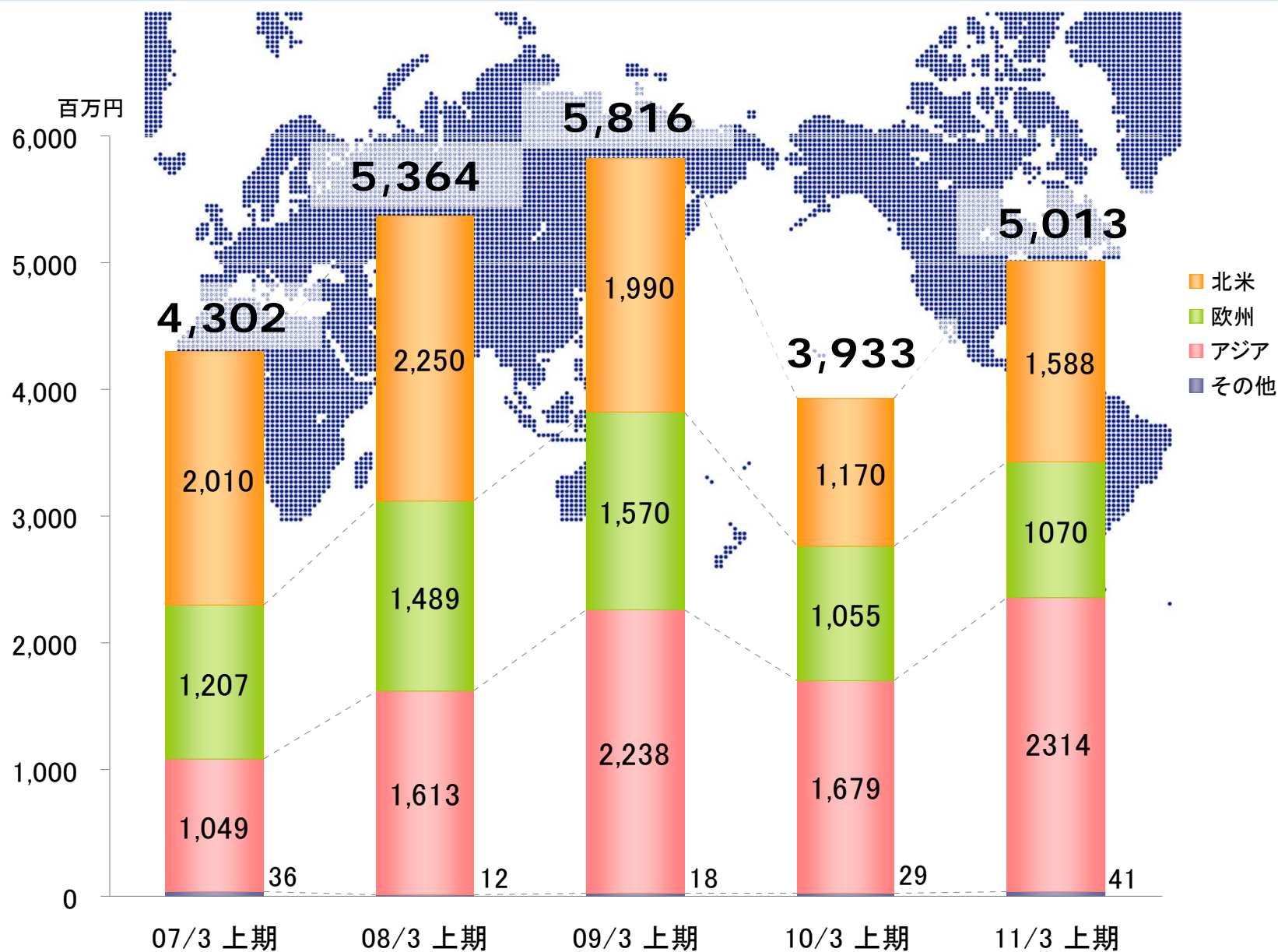
生産台数の出典: 日本自動車工業会より実績を引用。
予測は当社予測値。(年度は4-3月)

自動車向け製品(グローバル)の売上推移

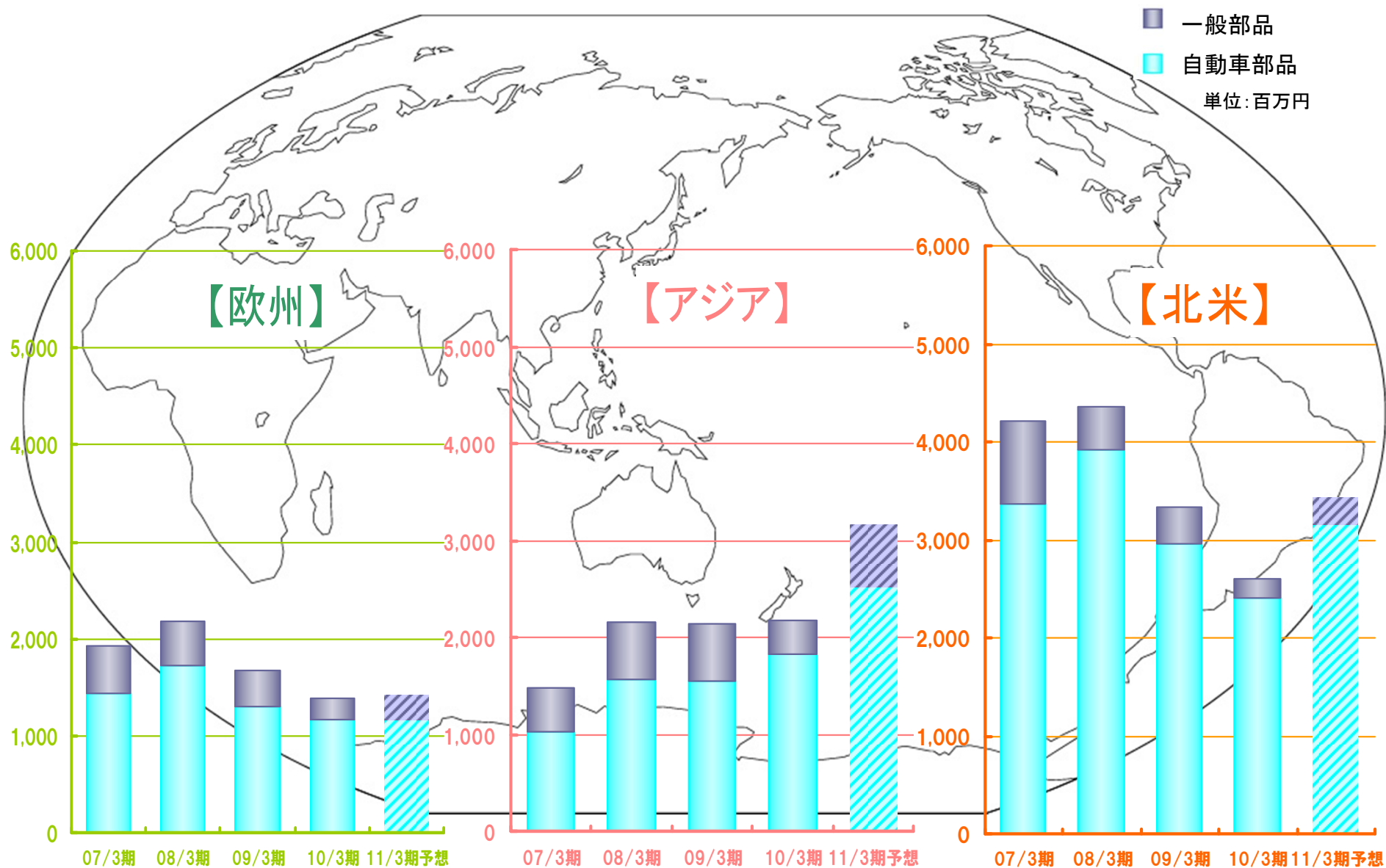


生産台数の出典: csm worldwide社(年度は4-3月)

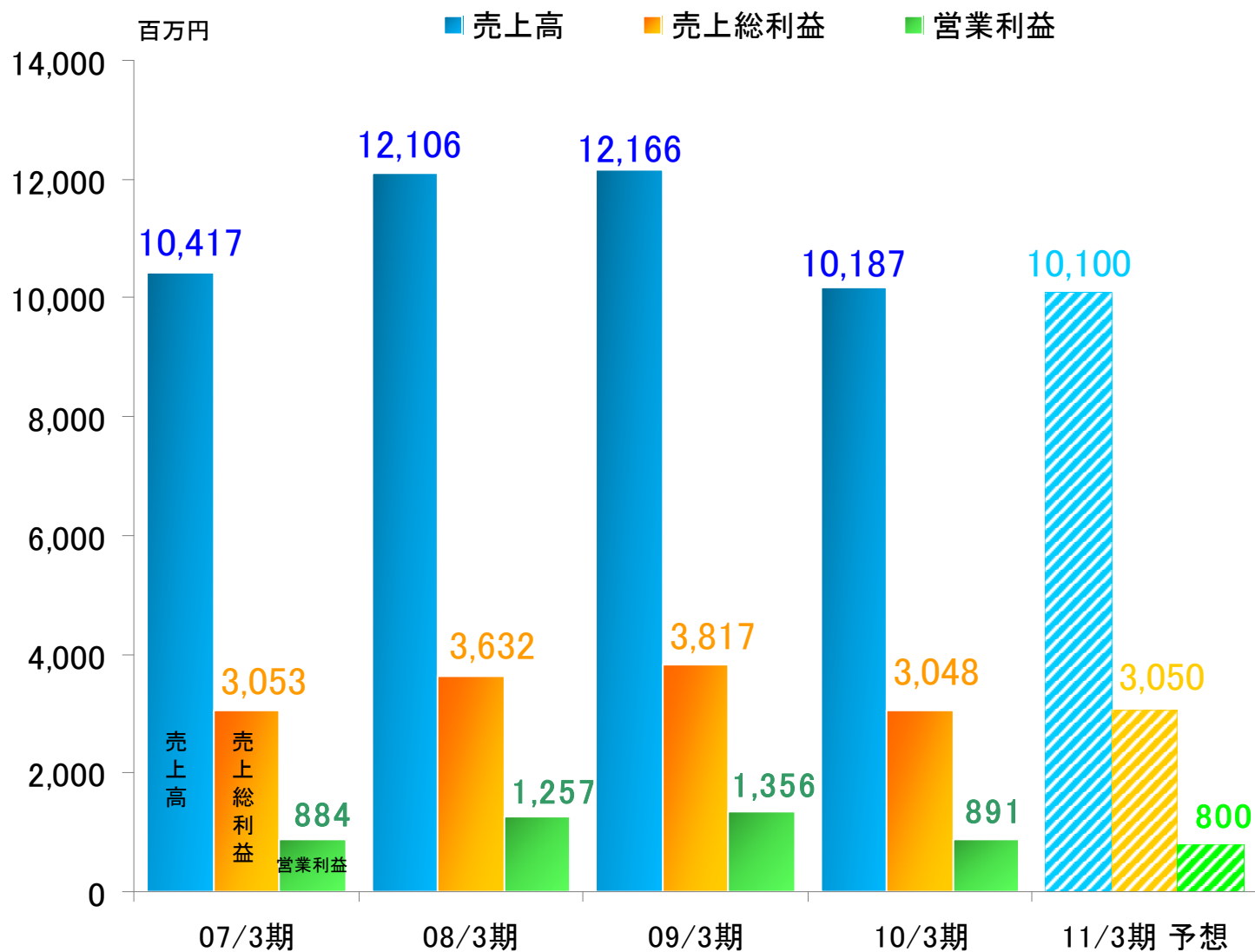
海外売上の推移(上期・地域別積上げ推移)



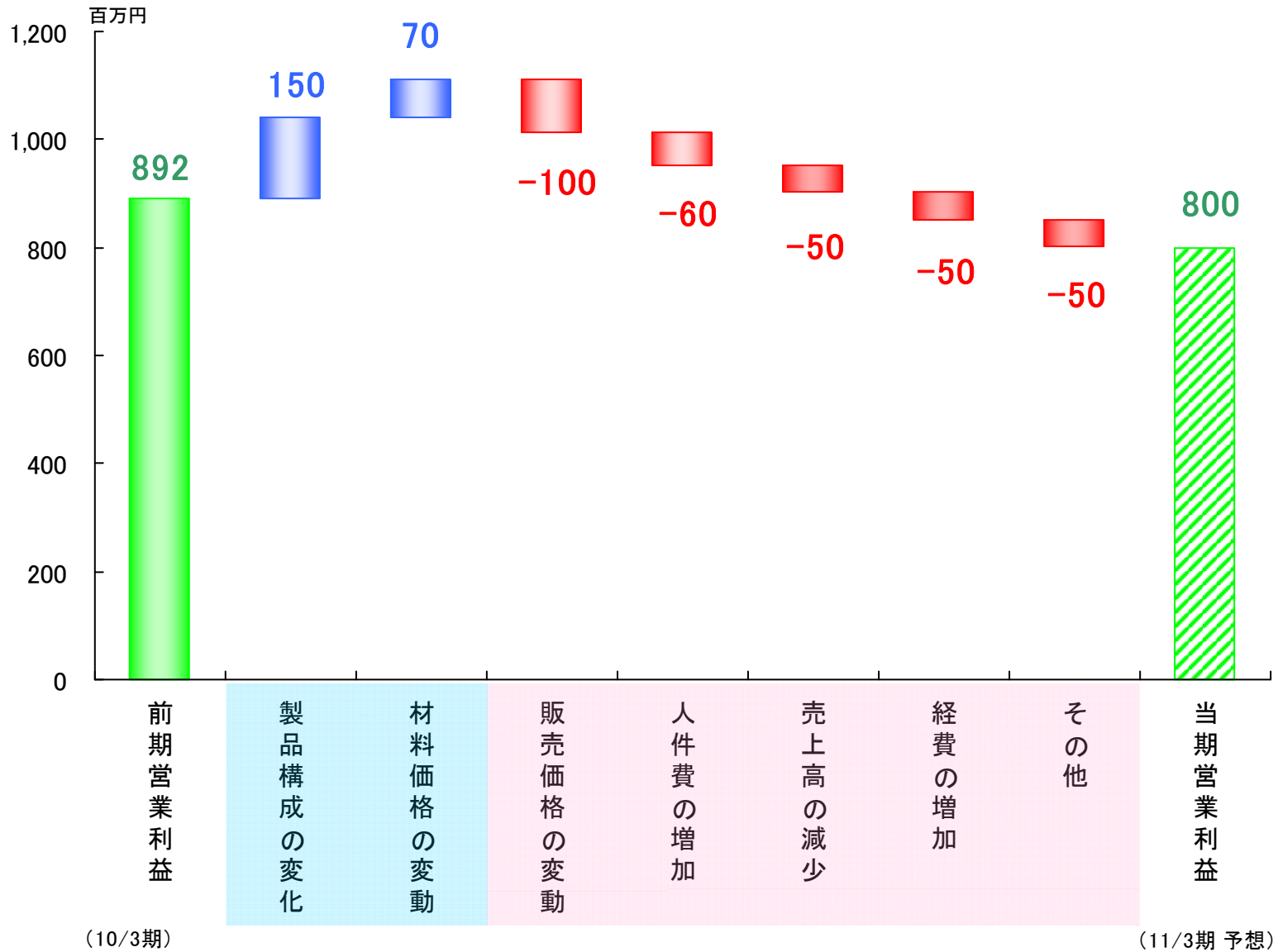
海外売上の推移(年間地域別推移)



構造機器セグメント 5期損益実績・予想推移



構造セグメント 11/3期 営業利益増減要因予想



建築機器・その他セグメント 損益実績・予想推移

《 建築機器 》

単位:百万円

	07/3期		08/3期		09/3期		10/3期		11/3期 予想	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	7,531	100.0%	7,145	100.0%	6,254	100.0%	5,569	100.0%	5,200	100.0%
売上総利益	2,533	33.6%	2,466	34.5%	2,223	35.5%	2,077	37.3%	1,770	34.0%
販管費	2,208	29.3%	1,959	27.4%	1,853	29.6%	1,768	31.7%	1,710	32.9%
営業利益	325	4.3%	507	7.1%	370	5.9%	309	5.5%	60	1.2%



《 その他 》

単位:百万円

	07/3期		08/3期		09/3期		10/3期		11/3期 予想	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	2,515	100.0%	2,277	100.0%	2,069	100.0%	1,273	100.0%	1,300	100.0%
売上総利益	426	17.5%	356	15.6%	323	15.6%	271	21.3%	260	20.0%
販管費	347	13.8%	282	12.4%	265	12.8%	217	17.1%	220	16.9%
営業利益	79	3.1%	74	3.3%	58	2.8%	54	4.3%	40	3.1%

長期的な視点から株主の皆様への還元に注力

【基本的な考え方】

連結配当性向30%以上

弾力的な自己株式の取得(消却)

株式分割の適時実施

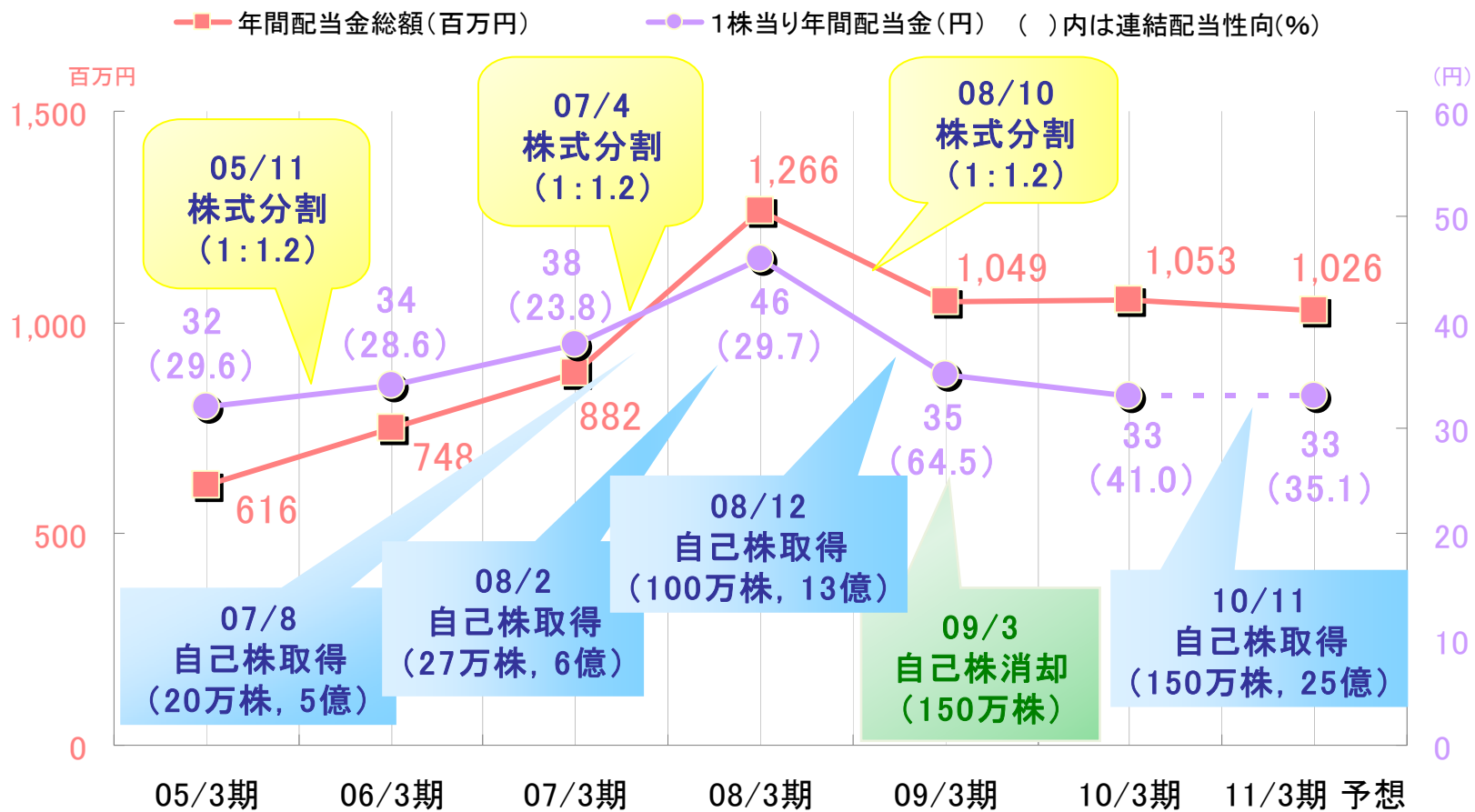


ROE10%以上への再挑戦

(参考)ROE推移

05/3期	5.2%
06/3期	6.2%
07/3期	7.8%
08/3期	8.8%
09/3期	3.4%
10/3期	5.3%

配当金の推移



中期計画について

長期ビジョン

「グローバル・エクセレントカンパニーへの挑戦」



中期経営方針

第1次中計(2005年～2007年)

世界初、世界一の製品・技術を開発

既存事業の体質強化と収益性の向上

海外事業を強化拡大する

第2次中計(2008年～2010年)

世界初、世界一の製品を実現

収益性向上の徹底と事業の拡大

グローバル市場への新たな取り組み

-挑戦- -革新- -体質強化-

全社をあげてプロセス・イノベーションに挑戦し
「より安く」「より早く」「より良く」を実現する

先進国から新興国の多様な市場ニーズに
こたえる製品とサービスを開発し提供する

環境・安全・品質・内部統制・ガバナンスを重視し
社員と企業を取り巻く人々から信頼される会社にする

－挑戦・革新・体質強化－

【上期の取り組み内容】

【市場対応】 ～ 新興国 & 先進国の二正面作戦

- ・ 新興国に強いカーメーカー & Tier1 メーカー
- ・ 建設機械、水車・水門、鉄道、製鉄などインフラ関連需要
- ・ インド進出:自動車関連需要とインフラ関連需要

【プロセス革新】 ～ 低コスト対応と効率化

- ・ 中国での原材料仕入れ
- ・ 中国現法に、インフラ関連需要向け中国製大型設備導入、
中国製NC機・成形機・プレス導入
- ・ 本社間接部門の生産性30%UP 活動中

【経営の質】 ～ 人材育成

- ・ 人材教育の刷新 ～ 海外人材育成を織り込んだ

新教育体系策定中

今後の取り組み

グローバル課題 ⇒ 「お買い得 *Value!* 製品」の開発

① プロセス・イノベーション



全社・全部門でより安く、より早く、より良く

② 低コスト化



新興国で「社内設備自社開発」

⇒ 中国に来春「生産技術センター(仮称)」設置計画完了
先行して中国製機械導入し、改造中

新興国で「材料調達」

⇒ 購買・生産部門にて実施拡大開始。専門チーム検討中。

新興国で「応用開発」

⇒ 来春、組織化予定



OILES OILES CORPORATION